学校番号	1015

平成 31 年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「家庭総合」　（東京書籍）						
副教材等	な　し						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○　家庭生活に関心を持ち、生活をより良くするための課題を見つけ、主体的に解決する力を育てましょう。
・　生活における様々な現象や課題について、クラスメイトと意見を交わしながら考え、多様なあり方や考え方について受け入れる力と自らの意見を発信する力を身につけます。
・　生活に関する基本的な知識と技術を体験的に身につけます。

2　学習の到達目標

・　人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、衣生活などに関する知識と技術を総合的に習得する。
・　学習した知識や技術を活かし，家庭や地域の生活課題を主体的に解決する態度を育成する。
・　家族や社会との共生を目指し，生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭, 子どもや高齢者との関わりと福祉, 衣生活などについて関心をもち, その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに, 実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭, 子どもや高齢者との関わりと福祉, 衣生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし, その解決を目指して思考を深め, 適切に判断し, 工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭，子どもや高齢者との関わりと福祉, 衣生活などに関する知識を総合的に身に付けている。	人の一生と家族・家庭，子どもや高齢者との関わりと福祉, 衣生活などに関する知識を総合的に身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 プリントの記述 学習ノートの記述 小テストの結果 実習の記録 実習参加状況・態度 定期考査の結果　等	学習状況の観察 プリントの記述 実習の記録 自己評価 実習参加状況・態度 定期考査の結果　等	学習状況の観察 プリントの記述 実習作品の完成度 定期考査の結果　等	学習状況の観察 プリントの記述 実習参加状況・態度 定期考査の結果　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期前半(4・5・6月)	**第1章　自分らしい人生をつくる**	家庭科の学び方 １生涯発達の視点 ○２青年期の課題 ・自分を見つめる ○３目標を持って生きる ４人生をつくる ○５家族・家庭を見つめる ・固定的な性別役割分業意識の見直し ・家族・家庭に関する法律 ○６これからの家庭生活と社会 ・家事労働・職業労働 ・ワーク・ライフ・バランス	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 家庭科の学習内容に関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。 ・生涯発達の考え方に立ち、青年期の課題について具体的に考えようとしている。 ・固定的な性別役割分業意識を見直し、多様な生き方を認め、積極的に家族・家庭と社会とのかかわりを考えようとしている。 b: 小中学校の学習とのつながりをふまえ、生活上の課題を見いだし、表現している。 ・自分を見つめ、肯定的な自己概念をもち、自分の人生や進路について考えを深めている。 ・家庭生活を支える法律や社会制度等のあり方について考え、まとめたり発表したりしている。 ・多様な家族のあり方の面から、各自が担う家庭での役割と自立について考え、まとめたり発表したりしている。 c: 生活上の課題を見いだすために、必要な資料を収集したり、調査したりすることができる。 d:青年期の課題や現代家族の特徴、家庭機能の変化、家庭生活と社会とのかかわりについて理解している。 ・目標を持ち、生活課題に対応した意思決定を自分で行うことの大切さを理解している。	授業観察 プリント 学習ノート 自己評価 定期考査

前期後半(7・8・9月)	**第2章　子どもと共に育つ**	１命を育む ・出産前後の健康管理 ２子どもの育つ力を知る ・子どもの発達段階 ○３親として共に育つ ・愛着の形成 ○４これからの保育環境 ・子どもを取りまく社会変化の現状	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○	a:母体の健康と子どもの誕生、子どもの心身の発達や生活について関心をもち、家族の果たす役割や保育の重要性、社会の果たす役割を考えようとしている。 ・子どもを取り巻く環境や子育てにおける課題に関心をもち、課題解決に向けて考えようとしている。 b:児童虐待や育児不安の事例研究を通して、原因および解決について考えを深めようとしている。 ・子どもを取り巻く環境の変化と子どもを生み育てることの意義、社会・地域・親の果たす役割について考え、課題を見いだし、まとめたり発表したりしている。 C:子どもの生活や子どもを取り巻く環境、子育てにおける課題などについて、情報を収集したり調査することができる。 d:生命の尊さ、子育ての意義の重要性について理解している。 ・妊娠や出産にかかわる知識を身につけている。 ・子どもの心身の発達や生活と環境とのかかわりについて、家族および地域や社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身につけている。 ・社会全体で子育てを支援する必要性を認識し、子どもの権利と福祉について理解している。	授業観察 プリント 学習ノート 自己評価 相互評価 定期考査

後期前半(10･11･12月)	**第7章　衣生活をつくる**	１被服の役割を考える ２被服を入手する ○３被服を管理する ４被服を作る ５衣生活の文化と知恵 ○６これからの衣生活	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:衣生活に関心をもち、衣服の成り立ちや文化、持続可能な衣生活について考えようとしている。 ・被服製作に意欲的に取り組もうとしている。 b:各ライフステージに適した衣服の役割、適切な着装、衣生活の管理について考えを深めている。 ・被服材料の性能改善と安全に配慮した被服、衣生活の文化の伝承について考え、まとめたり発表したりしている。 ・衣服の購入から廃棄、環境とのかかわりなど持続可能な衣食生活について考え工夫している。 c:健康と安全に配慮した被服計画を立てることができる。 ・製作の基本的事項をふまえて被服製作ができる。 d: 被服材料、着装、被服製作、被服管理などについて科学的に理解している。 ・資源の有効活用の視点から購入、活用、手入れ、保管、再利用、廃棄を考えた持続可能な衣生活の必要性を理解している。 ・安全と環境に配慮した衣生活や現代の衣生活の課題を認識し、その知識を身につけている。	授業観察 プリント 学習ノート 自己評価 定期考査 製作物

後期後半（1・2月）	第３章　高齢社会を生きる	１高齢期を理解する ２高齢者の心身の特徴 ○３高齢者を支える ○４これからの高齢社会	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a：高齢社会の現状と課題、高齢者の心身の特徴や生活などについて関心をもち、高齢者を肯定的にとらえ、高齢期の生活について考えようとしている。 b：高齢者や高齢者を取り巻く社会について、具体的に課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、まとめたり発表したりしている。 c：地域の高齢者福祉サービスについて情報を収集したり、調査したりすることができる。 d:高齢社会の現状と課題、高齢者の心身の特徴や生活について理解している。 ・体験的実習を通して高齢者の身体的特徴について理解し、高齢者の意思を尊重し思いやりをもって接することの大切さを理解している。 ・高齢者の尊厳を保ち、残存能力を生かした自立生活支援の必要性を認識している。	授業観察 プリント 学習ノート 自己評価 定期考査
	第４章　共に生き，共に支える	１私たちの生活と福祉 ○２共に生きる ○３社会保障の考え方	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a：共生社会に関心をもつとともに、社会の一員としての自覚をもち、主体的に行動しようとしている。 b：社会制度の理念と内容やボランティアのあり方について考えを深め、社会の一員として共生社会を実現するために何ができるか考え、工夫している。 c：共生社会の実現に向けて、情報を収集・整理したり実践にいかすなど、支え合う活動に必要な技術を身につけている。 d:共生社会の重要性について理解し、社会福祉の基本的な理念や内容について必要な知識を身につけている。	授業観察 プリント 学習ノート 自己評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。